

平成 26 年度第 1 回新宮町地域づくり協議会議事概要

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 会議名 | 平成 26 年度第 1 回新宮町地域づくり協議会 |
| 2 | 日時 | 平成 26 年 7 月 31 日（木）午後 2 時～3 時 30 分 |
| 3 | 会場 | 新宮公民館 2 階視聴覚室 |
| 4 | 出席者 | 委員 鈴木邦雄、高橋厚徳、新木博久、石川教子、大岡茂樹
小笠ます子、大西綾夫、高橋幸正、出水武美、長尾昇、藤田幸代
三鍋一俊、三鍋公一郎、脇斗志也
理事者 篠原市長、総務部長、建設課長、農林水産課長、農業振興課長
観光交流課長、教育総務課長、総務課長、建設課 1 名、農林水産課 1 名
観光交流課 1 名、教育総務課 1 名、総務課 1 名
事務局（2 名） |
| 5 | 傍聴者 | 報道関係 1 名 |

協議事項等

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 会議次第 | (1) 開会
(2) 市長あいさつ
(3) 委嘱状授与
(4) 委員長、副委員長選任
(5) 議事
① 平成 26 年度事業の実施状況について
② その他（四国交通(株)運行の新宮町間の路線廃止に伴う対応について）
(6) 閉会 |
|---|------|---|

1 会議概要

- | |
|--|
| (1) 開会 |
| (2) 市長あいさつ |
| (3) 委嘱状授与 |
| (4) 委員長、副委員長選任…委員長に鈴木邦雄委員、副委員長に高橋厚徳委員が就任 |
| (5) 議事 |

- ① 平成 26 年度事業の実施状況について

<各担当課より説明>

<主な意見>

委員：サルやイノシシによる農作物の被害は甚大であり、農業ができない状態である。
何か対策をお願いしたい。

理事者：全国的に被害が出ており、柵等の購入費に対しては一定の割合で補助事業を行っているほか、農林水産課では捕獲に対する報酬も準備している。
しかしこれといった効果てきめんな対策がないのが現状である。

委員：学校教育について。若者も減っている中、保護者は子どもの通学送迎にたいへん困っている。

市長：現実問題人口を増やすことは難しい。

まず若者の職場環境の整備が必要であり、一部地域だけでなく市全体の教育を存続させるためには小学校の統廃合も視野に入れなければならない、コツコツと地域住民が議論を行い続けなければ前進しない。

発想の転換が必要な時期が来ており、新たな案を生み出すためにも、今後とも

活発な議論をお願いしたい。

委員：林道の維持整備について。林道の整備が遅れており、通行が不便である。

理事者：現在の整備状況も踏まえ確認する時間を頂きたい。(後日回答)

委員：鳥獣捕獲に係る特別保護区について。保護区内の民家も深刻な鳥獣被害にあっている。平成 27 年度の特別保護区の見直し時に検討してもらいたい。

理事者：県の担当にも確認をとり検討したい。(後日回答)

委員：古野橋から神竜橋の道路整備について。以前に整備の約束があったが、今日まで整備が行われていない。

理事者：当時の経緯を調査する時間を頂きたい。(後日回答)

② その他（四国交通(株)運行の新宮町間の路線廃止に伴う対応について）

<事務局より説明>

<質疑応答>

委員：だいたいどのくらいの補助金が交付されているのか。

理事者：四国交通(株)に関しては約 2 5 0 万円の補助金が交付されている。

<主な意見>

委員：瀬戸内バスの朝の時間が早くなれば、川之江、三島から来る子どもが通学時間に間に合うので良くなる。